

令和2年度地域産業資源活用事業の促進に関する基本的な構想

1. 地域産業資源活用事業の促進に関する基本的な方針

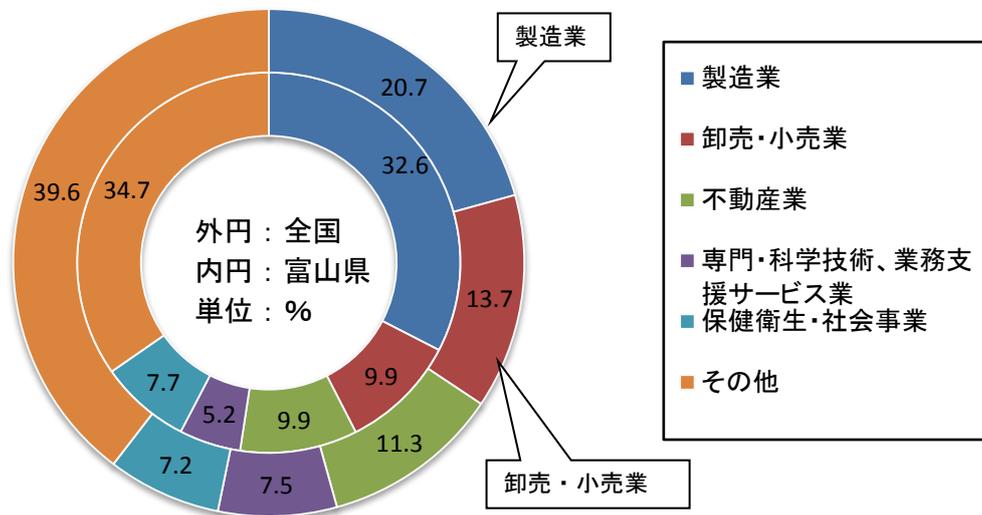
(1) 本県産業の特徴

本県はこれまで新産業都市計画、テクノポリス計画、頭脳立地計画、高度技術産業集積活性化計画、ものづくり産業未来戦略などに基づき、諸施策に取り組み、交通基盤や学術研究基盤などハード・ソフト両面にわたる産業インフラ整備を進めてきた。

その結果、現在では、医薬品などの化学やアルミなどの金属、機械工業を中心に、日本海側屈指の高度技術産業等の集積ゾーンを形成するに至っている。

本県の県内総生産額は4兆5,841億円（平成29年度県民経済計算）であり、産業別に見ると、製造業は1兆4,951億円と全体の32.6%を占め、全国20.7%と比較して約12ポイント上回っている。

図表 1 県内総生産の構成



資料：「平成29年度県民経済計算」

本県製造業は、医薬品などの化学工業やアルミニウム製サッシなどの金属製品製造業の出荷額が多く、これらの業種を含む基礎素材型製造業の製造品出荷額は2兆1,442億円と製造業全体の55.5%を占めている。（全国37.1%：平成30年工業統計調査）

本県の製造業事業所数に占める中小企業の割合は97.8%（全国98.1%）であるが、製造品出荷額等に占める中小企業の割合は、全国と比べ極めて高くなっている。（富山県59.5%、全国47.0%：平成30年工業統計調査）

図表 2 製造品出荷額等に占める中小企業（従業者数4～299人）の割合

（単位 百万円、%）

区 分	富山県		全 国
		全国シェア	
中小企業	2,300,859	1.5%	149,875,799
全 体	3,863,543	1.2%	319,035,840
中小企業比率	59.5%	—	46.9%
大企業比率	40.5%	—	53.1%

資料：平成30年工業統計調査

また、地域別にみると、新川地域では、良質で豊富な水資源に支えられ、アルミ等の金属製品や電子材料・部品、一般機械などの産業が集積しており、高い技術力を誇る企業も立地している。

富山地域では、県都富山市を核に活発な経済活動が展開されており、医薬品産業をはじめ、工作機械、ベアリング、ロボット等の一般機械産業や電子部品、ソフトウェア開発等の先端技術産業の集積が図られてきた。

さらに、富山大学、富山県立大学、富山高等専門学校等の高等教育機関、試験研究機関、産業支援機関が集積し、産学官連携による研究開発が活発に行われている。

また、医薬工連携による医療機器等の開発や深層水などの地域資源を活用した商品開発が積極的に進められている。

高岡・射水地域では、臨海工業地域を中心に、アルミ、鉄鋼等の金属製品や高岡銅器・漆器等の伝統産業などが集積しており、特に、約400年の歴史を持つ高岡銅器は梵鐘や仏具等で全国的に有名であり、銅器製品の全国シェアの9割を占めると言われている。

また、富山大学高岡キャンパス（芸術文化学部）やデザイン系の支援機関等が充実しているほか、ものづくり産業をさらに発展させるため、富山県立大学、富山県産業技術研究開発センターやものづくり研究開発センターを核とした産学官共同研究開発や人材育成が進められている。

砺波地域では、繊維産業をはじめ、電子部品、金属製品、工作機械等の地域産業のほか、井波彫刻等の伝統産業が発達している。

特に繊維産業においては、戦後の高度成長期に、経編ニットや丸編ニットで日本でも有数の産地を形成するようになり、余暇時間の増大等に伴い、スポーツウェアの製造が急速に伸びてきた。

このように、県内の各地域において、中小企業が主体の地域産業が地域経済を支えており、社会の変化に伴う新たなニーズに対応しながら、企業活動を展開しているところである。

（２）中小企業を取り巻く課題

一方で中小企業をめぐる環境は、近年の世界的な景気低迷や経済のグローバル化による安価な海外製品の流入、消費者ニーズの多様化、少子・高齢化の進展に伴う労働力不足など、大きく変化しており、中小企業が抱える悩みも、仕入・販売、技術開発、生産管理、コストダウン、金融など多様化・高度化している。

県中小企業支援センターの相談件数においては、令和元年度は８８５件であった。

本県製造業における中小企業の事業所数は、近年減少傾向にあり、平成３０年は２，６４１事業所と前年より減少している。

また、従業者数も近年減少傾向にあり、平成３０年は８５，８５９人と前年より減少している。

本県製造業の柱となっている医薬品やアルミニウム製品、電子部品・デバイスは、ＯＥＭ（相手先ブランド製造）や部品・部材として川下のメーカーに供給されることが多い。

これらの製品を製造している中小企業には、市場で高い評価を得られる製品をつくる技術力を持つものの一般消費者向けの製品を扱った経験が少なく、販路開拓が思う

ようにいかないという企業も少なくない。

また、本県の食料品製造業については、規模別集積状況からみると、全国よりも小規模事業所の占める割合が高いため、経済のグローバル化に伴う低価格の輸入食品との競争において、体力的な面では厳しい面もある。

一方、市場環境を見ると、競争の内容が価格だけでなく、食品安全・安心、ブランドによる高付加価値化という流れも見えてきており、生き残るためには、低価格以外の要素での競争力の確保が重要な課題となっている。

これからは、国産で安全な原材料の安定供給や高付加価値でかつ価格をおさえた製品開発のため、生産・加工・販売が地域で一体となって取り組むことが必要となっている。

伝統産業においては、国の伝統的工芸品に指定されている高岡銅器や井波彫刻、高岡漆器、庄川挽物木地、越中和紙、越中福岡の菅笠をはじめ、多くの産業があるが、技能・技術面では、高い水準にあるものの、後継者不足、市場の変化、原材料の確保など厳しい状況にある。

加えて、本県においては消費者向けの商品開発や販路開拓が課題となっている中小企業が多いが、これからは、高度な技能・技術の成果を現した伝統的な商品づくりだけでなく、現代消費者の生活ニーズにあわせて商品をアレンジしたり、作り手のこだわりを高く評価する消費者層へアピールするストーリーやメッセージを付加するなど、消費者の「感性」に訴えかける商品開発・販売戦略も必要であるため、この分野での支援の充実を図っていく必要がある。

(3) 地域産業資源活用事業を促進する意義

中小企業がこのような厳しい状況を乗り越えるためには、新たな事業展開など経営革新に積極的に取り組むことが重要である。

新事業展開にあたり、地域にある鉱工業品の優れた生産技術や農林水産物、観光資源など、特色ある地域の産業資源を活用することは、地域の中小企業が他の地域の企業との差別化が図られ、商品やサービスの付加価値を高めることにつながる。

また、商品やサービスの付加価値が高められることにより、本県の優れた資源の価

値そのものも高まることになる。

県内の地域資源を活用した中小企業の実績事例をあげると、鋳工業品の生産技術を活用したケースとして、伝統ある鑄造技術に優れたデザインを組み合わせた、インテリア・食器等の商品開発や医薬品製造技術を活用した飲料などの健康関連商品の開発等が行われている。

農林水産物を活用したケースとしては、「天然のいけす」と呼ばれる富山湾において水揚げされる魚介類・高品質な富山米や大豆などの農産物を活用した、付加価値の高い加工食品の開発が行われている。

観光資源を活用したケースとしては、国際的な山岳観光地である立山・黒部をはじめとした豊かな自然や伝統芸能、歴史的街並みなどを活かした、商品やサービスの開発が行われている。

このように、地域の特色ある産業資源を活用した新事業は、新商品の差別化に効果があり、地域産業の振興に寄与しているところである。

しかしながら、富山県には生活文化、歴史・伝統を育んできた地域産業資源が数多く存在することやその活用促進が地域産業の活性化手法として極めて有効な点を考慮すると、まだまだ取組みは十分とは言えない。

今後は、地域産業資源の積極的な活用促進を図るだけでなく、埋もれている地域産業資源の発掘にも努めていくとともに、令和4年度末の北陸新幹線敦賀開業に向けて延伸効果を最大限に高めるため、観光客やビジネス客に好まれる魅力ある新商品開発などに注力することが必要である。

(4) 地域産業資源活用事業を支援するに当たっての基本的な考え方

本県には、地域の強みとなり得る産業資源が数多く存在しているが、その資源を事業化に結び付けるノウハウを持つ企業が十分存在しているとは言えない状況となっている。

また、優れた製品を製造する技術を持つ中小企業は少なくないが、これらの企業が必ずしも商品の企画開発や販売等のノウハウを持つとは限らない。

これらのノウハウを事業者 서비스에提供する対事業所サービス業の集積に

ついて見ると、機械・装置のメンテナンスなど、ものづくり等を直接的に支援する業種では一定の集積がみられるが、商品の開発、販路開拓をサポートしていくサービス業の集積は必ずしも十分でない。

このため、地域産業資源活用事業を効果のあるものとするためには、製造技術の開発等の他に、商品コンセプト、マーケティング調査、パッケージなどのデザイン、ブランディングなどの要素について、県や市町村、関係団体、産業支援機関等が一体となって、意欲ある中小企業を支援していく必要がある。

具体的には、次のような支援事業を基本に実施していくこととする。

① とやまの資源発掘ブラッシュアップについて

地域の特色ある産業資源を活用した、中小企業の意欲ある取組みを促進していくため、新商品や新サービス開発を進めている中小企業の掘り起こしを行う。

また、中小企業のビジネスプランを魅力あるものにしていくため、商工会議所・商工会、中小企業団体中央会、県総合デザインセンター、高岡地域地場産業センターなど、地域のネットワーク形成を推進していくこととする。

ビジネスプランのブラッシュアップについては、公設試験研究機関や大学など関係機関と協力し、中小企業診断士等の専門家の助言を得て、適切な支援メニューへ結び付けていく。

② 地域産業資源活用事業の支援について

新たな需要を開拓し、地域産業の振興に有効な手段として期待できる新商品開発を目指す実用化技術については、地域における産学官の共同研究体に対して、研究開発支援を行う。

中小企業のビジネスプランのブラッシュアップを通じ、新規性があり、事業化の可能性が大きいものについては、とやま発となる新事業として、支援していく。

新事業支援にあたっては、県は、(公財)富山県新世紀産業機構において、これまで、「とやま新事業創造基金 地域資源ファンド」や「とやま中小企業チャレンジファンド 地域資源活用事業」により助成を行ってきたところであり、引き続き支

援することとする。

さらに、チャレンジファンドの活用と併せた県制度融資による支援のほか、県外、海外市場を視野に入れた創意ある取組みについては、国庫補助の活用等に対して、助言・援助等を行うことにより、地域産業資源活用事業を促進していく。

(5) 地域産業資源活用事業の推進体制

地域産業資源活用事業を促進していくには、関係団体等における基本的な役割を明らかにし、適切に連携を図りながら、取組みを進めていくことが大切である。

このため、有識者や関係団体・市町村及び県の各担当部局により構成される「とやま新事業創造推進検討会」において、地域産業資源を活用した事業活動の促進に関連する必要な事項や本基本構想の変更に関する検討などを行うこととする。

(6) 関係団体等の役割

各関係団体等は、具体的には次のような視点で取り組んでいくこととする。

① 県

地域産業資源活用事業の範囲は農林水産物、産地技術、観光資源と多岐にわたることから、多くの担当部局が関係してくる。

このため、各担当部局は、連絡を密にし、本県中小企業が地域産業資源を活用した商品の開発、生産、役務の提供、需要の開拓等を実施する際に、適切な支援が受けられるような体制を構築する。

また、地域産業資源活用のための研究開発については、これまで当該資源に関する様々な試験研究を実施してきた公設試験研究機関（県産業技術研究開発センター、県総合デザインセンター、県農林水産総合技術センター、県薬事総合研究開発センター）の研究成果の活用や、新たな研究開発の実施等が不可欠である。

このため、県の担当各部局はこれらの機関との連携を密にしながら、中小企業が地域産業資源活用のための研究開発に際して、必要な研究シーズ等を的確に紹介できる体制を構築する。

② 県新世紀産業機構

(公財)富山県新世紀産業機構は、テクノポリス計画推進の中核的組織である富山県技術開発財団を前身とし、これまで債務保証、技術開発助成、研修指導、調査研究等多様な支援事業を実施し、県内の産学官に幅広い人的ネットワークを築いてきているところである。

こうしたことから、新事業支援体制における中核的な産業支援機関であり、「とやま中小企業チャレンジファンド」の主体でもあることから、地域産業資源活用促進事業においても中核的な役割を担い、事業に取り組む。

③ 市町村

市町村は、本県での地域産業資源活用事業の活性化のため、中小企業への関連施策のPRを行うとともに、商工会議所、商工会、JA（農業協同組合）、JF（漁業協同組合）、観光協会等と連携して、地域産業資源の掘り起こしを実施する。

また、地域産業資源活用事業の推進が、市町村における産業活性化の手段の一つとして活用できることから、自らの産業振興政策体系の中に位置付け、主体的に地域産業資源の掘り起こしや、地域産業資源活用事業に取り組む事業者の掘り起こし、支援機関やパートナーとなりうる事業者とのマッチング等の事業に取り組むほか、地域を挙げて支援を行う「ふるさと名物」を特定し、「ふるさと名物応援宣言」として積極的な情報発信を行う。

④ 商工3団体（商工会議所、商工会、中小企業団体中央会）

商工会議所、商工会、中小企業団体中央会は、商工業の振興を推進することにより、地域経済の活性化を通じて、地域の発展を図るため、産業経済に関する調査研究、講演会、講習会の開催、中小企業や小規模事業者等の商工業に関する相談指導、商店街活動の支援や観光振興等に取り組んでいるところである。

このため、これまで実施してきた取組みは、本県における地域産業資源活用事業の促進につながるものである。

そこで、商工会議所、商工会、中小企業団体中央会は、会員中小企業への関連施策のPRや地域産業資源の掘り起こしを行う。

また、地域産業資源の活用促進に係る必要な支援を行い、本県における地域産業資源活用事業の促進を図る。

⑤ 農林水産関係団体

地域産業資源活用事業を実施するには、原材料の地域産業資源が安定的かつ持続的に活用できる状況が確保される必要がある。

このためには、中小企業と原材料の生産者との間の連携を構築する必要があり、農林水産品の生産者側の窓口として、生産者組織であるJA、JF等の団体の協力、また、食品加工業の中小企業側の窓口として富山県食品産業協会の協力を得ることで、中小企業と生産者との連携がスムーズに図られることが期待できる。

また、生産者に対する施策のPRや高付加価値化につながる事業への支援により、農林水産物そのものの価値向上や、生産の一層の振興が図られることが期待できることから、地域産業資源活用事業に対して、必要な支援を行う。

⑥ 観光関係団体

地域産業資源活用事業の実施にあたっては、本県の観光資源のPRだけでなく、観光資源の商品化や交通事業者、宿泊施設、旅行エージェント等の連携が必要となる。

このため、日本版DMOに登録された（公社）とやま観光推進機構、県内市町の観光協会をはじめとする観光関係団体は、観光商品の開発支援や、本県の「おもてなしの心」の具体化など、ソフト面での様々な環境整備の促進に取り組んでいるところである。

今後も、旅行業、ホテル・旅館業、交通事業者等の観光関連事業者等と連携しつつ、観光事業の支援に取り組む。

2. 地域産業資源の内容

(1) 農林水産物

赤字は、今回新規追加を行った地域資源及び地域

名称	地域産業資源に係る地域
朝日西瓜	富山市
アスパラガス	朝日町
甘エビ	富山市、高岡市、射水市、魚津市、滑川市、黒部市、入善町、朝日町
鮎	富山市、射水市、砺波市、南砺市
アルギットさといも	高岡市
アルギットにら	滑川市
	砺波市、南砺市、小矢部市
いちご	黒部市
稲積梅	氷見市
稲葉メルヘン牛	小矢部市
いみずサクラマス	射水市
ウマヅラハギ (魚津寒ハギ)	魚津市
エゴマ	富山市
小鹿野・東福寺ぶどう	滑川市
音川ぶどう	富山市
音川早生大かぶ	富山市
海洋深層水トマト	滑川市
かづみさといも	滑川市
キジハタ	黒部市
呉羽梨	富山市、射水市
黒河たけのこ	射水市
黒部丸いも	黒部市
黒部名水ポーク	黒部市
啓翁桜	富山市、氷見市
鶏卵	富山市、高岡市、射水市、魚津市、砺波市、小矢部市、南砺市、上市町
ゲンゲ	富山市、射水市、魚津市

県産牛乳	富山市、高岡市、射水市、魚津市、滑川市、黒部市、 砺波市、小矢部市、南砺市、上市町、入善町
鯉	高岡市
五箇山赤かぶ	南砺市
五箇山ぼべら（かぼちゃ）	南砺市
越のわたり蟹	射水市
こまつな	射水市
サクラマス	富山市、射水市
鮭	高岡市、射水市、朝日町
さといも	入善町、朝日町
三社柿	南砺市
下野方なし	魚津市
シャクヤク	県全域
庄川おんせん野菜	砺波市
庄川ゆず	砺波市
縄文のさといも	小矢部市
シロエビ	富山市、高岡市、射水市、魚津市、氷見市、滑川市、 黒部市、入善町、朝日町
しんきろうトマト	魚津市
深層水仕込カキ	入善町
菅	高岡市
ズワイガニ	富山市、射水市
たかはたポーク	砺波市
たけのこ	高岡市、氷見市
種もみ	黒部市、砺波市
たまねぎ	砺波市、南砺市
チューリップ	高岡市、砺波市、南砺市、入善町、朝日町
つるぎさといも	上市町
トウキ	県全域
どっこきゅうり	高岡市
とやま牛	富山市、高岡市、魚津市、氷見市、小矢部市、南砺市、 舟橋村、上市町、立山町、入善町、朝日町

とやまジビエ	県全域
富山しろねぎ	富山市、高岡市、射水市、魚津市、氷見市、滑川市、黒部市、砺波市、南砺市、上市町、立山町、入善町、朝日町
富山トマト	富山市
富山の大麦	県全域
富山の大豆	県全域
富山ブラック（枝豆）	射水市
とやまポーク	富山市、魚津市、氷見市、滑川市、黒部市、砺波市、小矢部市、南砺市、立山町
富山米	県全域
ナガラモ	氷見市
灘浦みかん	氷見市
なたね	高岡市
新川きゅうり	魚津市 入善町、朝日町
新川だいこん	魚津市
西布施ぶどう	魚津市
入善ジャンボ西瓜	入善町
入善深層水あわび	入善町
バイ貝	魚津市
ハトムギ	高岡市、小矢部市、朝日町
バラ	小矢部市
ばれいしょ	富山市、朝日町
氷見イワシ	氷見市
ひみ寒ぶり	氷見市
氷見牛	氷見市
ひみ自然薯	氷見市
氷見はとむぎ	氷見市
ヒラメ	黒部市
ふく福柿	砺波市
ぶどう	砺波市

ブリ	富山市、高岡市、射水市、魚津市、氷見市、滑川市、黒部市、入善町、朝日町
ヘチマ	射水市
ベニズワイガニ (高志の紅ガニ)	射水市、魚津市、滑川市、黒部市、入善町、朝日町
放牧豚	氷見市
ほうれん草	高岡市
細入らっきょう	富山市
ホタルイカ	富山市、高岡市、射水市、魚津市、氷見市、滑川市、黒部市、入善町、朝日町
マコモタケ	富山市、氷見市、黒部市
万葉かれい	射水市
水島柿	射水市
宮島の栗	小矢部市
みょうが	富山市、南砺市
モモ	黒部市、入善町、朝日町
モロヘイヤ	富山市
ヤーコン	小矢部市
八尾黒ゴマ	富山市
八尾そば	富山市
八尾の桑	富山市
山野さといも	南砺市
ラ・フランス	立山町
りんご	富山市、高岡市、射水市、魚津市、氷見市、滑川市、黒部市、砺波市、小矢部市、南砺市
わかめ	氷見市

(2) 鋳工業品又は鋳工業品の生産に係る技術

名称	地域産業資源に係る地域
穴の谷の霊水	富山市、上市町
甘酒	南砺市
アルミニウム製品	高岡市、射水市、氷見市、滑川市、黒部市
生地の塩物	黒部市
井波彫刻	砺波市、南砺市
ウイスキー	砺波市
魚津漆器	魚津市
海とろめし	氷見市
越中三助焼	砺波市
越中瀬戸焼	立山町
越中和紙	富山市、南砺市
大門素麺	砺波市
押しずし(押せずし)	魚津市
おやべホワイトラーメン	小矢部市
織物	南砺市
海洋深層水天日塩	滑川市
柿酢	富山市
金屋石	砺波市
かぶら寿し	高岡市、砺波市、小矢部市、南砺市
かまぼこ	富山市、高岡市、射水市、魚津市、氷見市、滑川市、黒部市
ガラス製品	富山市、高岡市、射水市、砺波市、小矢部市
久目串柿	氷見市
黒部川扇状地湧水	黒部市、入善町
くろべ水餃子	黒部市
昆布じめ	富山市、高岡市、射水市、魚津市、氷見市、滑川市
昆布巻き	富山市、高岡市、射水市、滑川市
蚕業	南砺市
塩ブリ	魚津市

地ビール	氷見市、黒部市、南砺市
庄川挽物木地	砺波市、南砺市
焼酎	氷見市
しょうゆ	小矢部市
菅笠	高岡市
清酒	富山市、高岡市、魚津市、氷見市、滑川市、黒部市、砺波市、小矢部市、南砺市、上市町、朝日町
せんだん山そば	砺波市
高岡グリーンラーメン	高岡市
高岡コロッケ	高岡市
高岡昆布スイーツ	高岡市
高岡昆布飯	高岡市
高岡漆器	高岡市
高岡鉄器	高岡市
高岡銅器	高岡市
高岡仏具	高岡市
高岡仏壇	高岡市
高岡流お好み焼き ととまる	高岡市
玉殿の湧水	富山市、立山町
天蚕	富山市
つくるUOZU GAMES	魚津市
利賀蕎麦	南砺市
ところてん	高岡市
砺波の民具	砺波市
どぶろく	氷見市
とやま土人形	富山市
富山の一般機械	富山市、高岡市、射水市、魚津市、氷見市、滑川市、黒部市、砺波市、小矢部市、南砺市、上市町、立山町、入善町
富山の金属製品	富山市、高岡市、射水市、魚津市、氷見市、滑川市、黒部市、砺波市、小矢部市、南砺市、上市町、立山町、入善町
富山のくすり	富山市、高岡市、射水市、滑川市、上市町、立山町

富山県産材	県全域
富山の深層水	富山市、高岡市、射水市、魚津市、氷見市、滑川市、黒部市、砺波市、小矢部市、南砺市、上市町、立山町、入善町、朝日町
富山の電子材料・電子部品	県全域
富山のプラスチック	富山市、高岡市、射水市、魚津市、氷見市、黒部市、砺波市、小矢部市、南砺市、上市町、入善町
富山ブラック(ラーメン)	富山市、高岡市、射水市
富山干柿	南砺市
富山木象嵌	富山市
富山やくぜん	富山市
富山湾鮫	富山市、高岡市、射水市、魚津市、氷見市、滑川市、砺波市、南砺市、立山町、朝日町
とろろ昆布	高岡市、黒部市
どんだん焼き	滑川市
ニシンの糀漬け	小矢部市
ニット製品	富山市、高岡市、射水市、砺波市、小矢部市、南砺市、
入善ブラウンラーメン	入善町
バイ飯	魚津市
バタバタ茶	朝日町
蜂蜜	富山市、小矢部市
パックご飯	入善町
ばね・ぜんまい製品	黒部市
氷見カレー	氷見市
氷見牛カレー	氷見市
氷見牛コロッケ	氷見市
ひみ里山杉	氷見市
氷見三昧御膳	氷見市
氷見のうどん	氷見市
干物	氷見市
	黒部市
福光バット	南砺市

藤箕	氷見市
米菓	富山市、射水市、砺波市、小矢部市、南砺市、立山町
干しいも	黒部市
ます寿し	富山市、高岡市、射水市、魚津市、黒部市、小矢部市、入善町
増山城 蔵蕃そば	砺波市
水だんご	魚津市、黒部市
宮島峡産赤かぶ漬け	小矢部市
モルト麦茶	黒部市
薬膳	富山市、高岡市、射水市
	魚津市
湯ぐり料理	氷見市
よごし	砺波市
ワイン	富山市、氷見市

(3) 文化財、自然の風景地、温泉その他の地域の観光資源

名称	地域産業資源に係る地域
あさひ城山公園	朝日町
雨晴海岸	高岡市
有峰湖	富山市
あるぺん村	立山町
稲葉山	小矢部市
井波彫刻工房	南砺市
岩瀬の街並み	富山市
魚津城跡	魚津市
魚津水族館 (魚津水族博物館)	魚津市
魚津の水循環	魚津市
魚津八幡宮献灯みこし祭り	魚津市
内川	射水市
宇奈月温泉(黒部峡谷温泉群)	富山市、黒部市、立山町
宇奈月トロッコ電車	黒部市
海の駅 蜃気楼	魚津市
越中おわら	富山市
越中式定置網漁	氷見市
越中和紙工房	富山市、南砺市、朝日町
園芸植物園の福野スプレー菊	南砺市
かいにょ苑(旧金岡家住宅)	砺波市
怪物くんバス	氷見市
鹿熊の刀踊り	魚津市
片貝山ノ守キャンプ場	魚津市
金屋町の町並み	高岡市
上和田緑地・キャンプ場の桜	砺波市
ガラス工房	富山市
祇園祭	氷見市
木舟城跡	高岡市

木村産業株式会社社屋	砺波市
旧北前船回船問屋街	富山市
	高岡市
旧中越銀行本店	砺波市
旧中嶋家住宅	砺波市
旧北陸道	富山市、高岡市、射水市、魚津市、滑川市、黒部市、小矢部市、入善町、朝日町
グリーンパーク吉峰	立山町
俱利伽羅源平古戦場	小矢部市
クロスランドおやべ	小矢部市
黒部川扇状地湧水群	黒部市、入善町
黒部峡谷	黒部市
黒部湖	富山市、黒部市、立山町
黒部ダム	富山市、黒部市、立山町
氣多神社	高岡市
五ヶ種チョンガレ踊り	砺波市
五箇山合掌造集落	南砺市
五箇山豆腐店	南砺市
五箇山の報恩講料理店	南砺市
こきりこ	南砺市
国分寺跡	高岡市
古城公園(高岡城跡)	高岡市
小杉展示館	射水市
鏝絵	射水市
小牧ダム	砺波市
米騒動発祥の地	魚津市
ごんごん祭り	氷見市
昆虫王国立山 立山自然ふれあい館	立山町
佐伯家	高岡市
酒蔵	富山市、高岡市、魚津市、氷見市、滑川市、黒部市、砺波市、小矢部市、南砺市、上市町、朝日町

左義長	砺波市
桜町遺跡	小矢部市
酒とり祭り	小矢部市
散居景観	砺波市、南砺市、入善町
獅子舞	高岡市、射水市、魚津市、氷見市、砺波市、小矢部市
十二町湯オニバス発生地	氷見市
庄川温泉郷	砺波市
庄川合口堰堤	砺波市
庄川大仏	砺波市
庄川のエドヒガンザクラ群生地 (砺波嵐山)	砺波市
勝興寺	高岡市
上日寺の大イチョウ	氷見市
城端むぎや	南砺市
常福寺	砺波市
称名滝	富山市、立山町
城山公園	小矢部市
蜃気楼	魚津市
新湊大橋	射水市
森林セラピー基地	上市町
瑞泉寺	南砺市
水道つつじ公園	高岡市
瑞龍寺	高岡市
杉沢の沢スギ	入善町
諏訪町本通り	富山市
せり込み蝶六	魚津市
千光寺	砺波市
太閤山ランドのあじさい	射水市
大門凧	射水市
高岡漆器工房	高岡市
高岡大仏	高岡市
高岡銅器工房	高岡市

高岡のコロッケ店	高岡市
高岡御車山	高岡市
竹内源造記念館	射水市
武田家	高岡市
田近越・小原越	小矢部市
たてもん	魚津市
立山カルデラ	富山市、立山町
立山黒部アルペンルート	富山市、黒部市、立山町
立山山麓	富山市、立山町
立山連峰	富山市、立山町
	高岡市、氷見市
棚田家	高岡市
たら汁店	朝日町
檀城(庄城)	砺波市
稚児舞	射水市
中越弁慶号	砺波市
チューリップ公園のカンナ	砺波市
チューリップ畑	高岡市、砺波市、入善町
築山行事	高岡市、射水市
つくりもんまつり	高岡市
津沢夜高あんどん祭	小矢部市
劔岳	富山市、上市町、立山町
出町子供歌舞伎曳山	砺波市
戸出 菜の花	高岡市
洞杉	魚津市
利賀芸術公園	南砺市
利賀蕎麦店	南砺市
とやま昆布街道	富山市、高岡市、射水市、魚津市、氷見市、滑川市、黒部市、上市町、立山町、入善町、朝日町
富山湾岸クルージング	滑川市
滑川のネブタ流し	滑川市

下山芸術の森 発電所美術館	入善町
中筋往来の石仏群	砺波市
二万七千石用水取入口跡	砺波市
入道家住宅	砺波市
忍者ハットリくんからくり時計	氷見市
忍者ハットリくん列車	氷見市
帆船海王丸	射水市
花菖蒲祭り	小矢部市
花の森・天神山ガーデン	魚津市
埴生護国八幡宮	小矢部市
般若野荘関係史跡(薬勝寺、 親王塚、公卿塚)	砺波市
東山円筒分水槽	魚津市
曳山	富山市、高岡市、射水市、氷見市、砺波市、 小矢部市、南砺市
美女平	富山市、立山町
ヒスイ海岸	朝日町
氷見温泉郷	氷見市
氷見海岸	氷見市
氷見サカナ紳士録モニュメント	氷見市
氷見市 藤子不二雄 [Ⓐ] まんが ワールド	氷見市
Factory Art Museum Toyama	高岡市
フォレストフローラル氷見あい やまガーデン	氷見市
富岩運河	富山市
福野夜高	南砺市
二上山	高岡市
不動堂遺跡	朝日町
舟川べり ～あさひ舟川 春の四重奏～	朝日町
舟見城址館	入善町
蛇石	魚津市

弁財天社(元雄神神社)	砺波市
北陸道・俱利伽羅峠越	小矢部市
ホテルイカ群遊海面	富山市、魚津市、滑川市
芳里家住宅	砺波市
埋没林	魚津市
前田利長公墓所	高岡市
升方城跡	魚津市
増山城跡	砺波市
松川	富山市
松川除堤防と御川除地蔵	砺波市
松倉城跡	魚津市
まるまげ祭り	氷見市
まんがロード	氷見市
万葉線	高岡市、射水市
万葉の里	高岡市、氷見市
宮島峡	小矢部市
ミラージュランド	魚津市
メルヘンおやべ源平火牛まつり	小矢部市
メルヘン公共建築物	小矢部市
薬膳料理店	富山市
安川城	砺波市
柳田布尾山古墳	氷見市
山田文作像	砺波市
山町筋	高岡市
やんさんま	射水市
弓の清水	高岡市
夢の平 コスモス	砺波市
夜高	砺波市
頼成の森 花しょうぶ	砺波市
路面電車	富山市
若宮古墳	小矢部市

3. 地域産業資源を用いて行う地域産業資源活用事業を促進することにより当該地域産業資源に係る地域経済の活性化を推進する方策

3-1. 個別地域産業資源に関する施策

(1) 「富山の深層水」関連施策

本県では、「低温安定性」、「富栄養性」、「清浄性」という特徴を持つ富山湾の海洋深層水を冷水性魚介類の増養殖、健康飲料や食品、医薬品などの分野の活用など限らない可能性を秘める資源として位置付けている。

また、その資源の有効活用のため「富山県深層水協議会」を設置し、産学官が連携・協力しながら、深層水の研究開発や商品化、ブランド確立に取り組んできている。

- ・ 「富山の深層水」ブランドの確立のため、各種PR事業に取り組み、普及や利用促進を図る。
- ・ 健康増進、食品などの分野において、特定保健用食品に認定されるような科学的裏付けを持つ深層水関連商品開発への支援や研究を推進する。

(2) 「富山のくすり」関連施策

300年以上の歴史と伝統を有する本県医薬品産業は「富山のくすり」として、広く全国に知られている。

また、現在、高い製造技術や製剤開発力、関連産業の集積などを背景に、全国トップクラスの生産拠点を形成している。

- ・ 公設では全国唯一の県薬事総合研究開発センター等での研究・開発体制の充実を図り、医薬品の開発研究などの振興を図る。
- ・ 県内製薬企業等による付加価値の高い医薬品の開発や海外への販路拡大を支援する。
- ・ 「富山のくすり」のブランド力を維持強化するため、「富山くすりフェア」の開催をはじめとした広報宣伝事業や販路拡大事業を支援する。

(3) 「食のとやま」関連施策

本県には、豊かな自然環境の下で、本県にしかなかったり、品質等に優れたりした農

林水産物、それらを使った加工食品が豊富に存在するものの、全国的に流通し、県内外で一定の評価、知名度を得ているものは少ない。

そこで、本県産品の中から他県等産品と意識的に差異化（独自性、優位性の演出）できるもの、その意味や価値を顧客に訴え、共感、信頼感、好感を得られるようなものを「食のとやまブランド」として位置付け、育成に努めている。

- ・ 全国的に流通している産品等について、首都圏等の消費者や富山にゆかりのある層をターゲットとして、情報発信や販売促進を強化する。
- ・ 「富山県ふるさと認証食品」の普及・販路拡大を促進するとともに、県産食材を使用した新たな「とやま名物」などの新商品開発への支援を行う。
- ・ 県食品研究所において、県産の農林水産加工品の機能性成分の分析や、新たな加工食品の開発研究を推進する。

（４）伝統工芸品関連施策

本県には、高岡銅器や井波彫刻、高岡漆器、庄川挽物木地、越中和紙、越中福岡の菅笠といった経済産業大臣指定の伝統的工芸品があり、これらの産業振興を図るため、後継者育成事業、デザイン開発、需要開拓等の産地組合事業を通じた支援を行ってきた。

平成２５年１０月には、越中瀬戸焼、高岡鉄器、高岡仏壇、とやま土人形、富山木象嵌を県が独自に指定し、国指定伝統的工芸品と共にその魅力の発信に努めている。

また、平成２８年３月にまとめられた伝統工芸担い手等育成検討会における報告を踏まえ、伝統工芸品産業の後継者育成のほか、商品開発や販路開拓など需要拡大の支援に積極的に取り組むこととしている。

- ・ 県外で開催される展示会やアンテナショップでの催事等への出展に対して、支援を行い、首都圏等における伝統工芸品の販路拡大を促進する。
- ・ 産学官の連携により、新しい視点からのデザイン開発など、魅力ある商品づくりを促進する。
- ・ 欧米等において本県伝統工芸品の展示会を開催するなど、海外販路開拓への支援の充実を図る。

(5) 富山の繊維関連施策

本県では、我が国でも有数の繊維産業の産地である西部地域において、多様化する用途に対応した高機能繊維製品と先端技術による産業用繊維製品を特定分野とする、特定中小企業集積活性化計画を策定し、各種事業に取り組んできた。

具体的には、地域の企業が得意とするニット・織物等の生地製造、並びに繊維製品等に関する技術をベースに、触感・風合いに優れた商品やスポーツ衣料、高耐久性の産業資材等、様々な用途に対応した新商品開発の支援を実施している。

- ・ 県産業技術研究開発センター生活工学研究所、(一社)富山県繊維協会、県総合デザインセンターの連携による技術開発、人材育成、デザインによる繊維製品の高付加価値化の支援を行う。

(6) 観光振興関連施策

本県には、立山連峰や黒部峡谷をはじめとする美しい自然景観はもとより、伝統文化、世界遺産五箇山合掌造り集落、散居景観などの歴史・文化、富山湾の海の幸などの「食」、宇奈月や氷見、庄川等の温泉など、魅力的な観光資源が多数ある。

このため、観光資源の商品化による滞在型観光、通年型観光の促進や、産業観光の推進、国内外での観光キャンペーンの強化等を実施してきている。

- ・ 「富山ならではの」の魅力ある観光資源を活用し、体験型・時間消費型・通年型等の様々な観光商品・旅行商品の開発・PRを行う事業を支援する。
- ・ 特徴ある路面電車や「富山のくすり」、ます寿しや蒲鉾等の食品産業、ファスニング産業、癒し系ロボット製造など特色ある産業資源を活用した観光商品の開発、PRに対して支援を行う。
- ・ 銅器、木彫刻、漆器、和紙等の伝統産業の生産現場や北前船、電源開発、富岩運河開発等の産業文化財を活用した産業観光を推進する。

(7) 地域資源活用促進施策

本県では、地域経済活性化のため、地域産業における新たな支援を定め、その重点施策として、「地域資源を活用した新事業創出の支援」を位置付けている。

このため、新世紀産業機構に「とやま中小企業チャレンジファンド」を設置している。

- ・ 地域資源の活用による中小企業者の新事業展開を促進するため、ファンドにより、新商品・新サービスの開発から販路開拓まで総合的な支援を図る。
- ・ 地域資源を活用した中小企業の意欲ある取組みの掘り起こしやビジネスプランのブラッシュアップのため支援を行う。

3-2. 関連する施策

本県においては、平成24年9月に中小企業の振興と人材の育成等を総合的に推進し、もって地域社会の持続的な発展、県民生活の向上に寄与することを目的に「富山県中小企業の振興と人材の育成等に関する基本条例」を制定した。

今後、本条例に基づき、次の支援施策を実施する。

さらに平成27年3月には小規模企業の持続的な発展に関する規定を盛り込む改正を行ったところである。

①中小企業支援体制の充実強化

- ・ 「県中小企業支援センター」を中心とした企業・商工団体、大学等、行政、金融機関の連携の強化を図る。
- ・ 県中小企業支援センターから中小企業に対し、豊富な知識と経験を持つ支援マネージャーや専門家を派遣することにより、適切な支援を実施する。
- ・ 小規模事業者のニーズの高度化に対応できるよう、商工団体等の組織基盤の強化を図る。
- ・ 公設試験研究機関における、中小企業に対する技術、製品開発等の相談機能の充実を図る。
- ・ 県知的所有権センターの特許流通アドバイザーによる企業ニーズの把握や技術シーズとのマッチングを実施し、特許導入を希望する企業に対する相談・支援を充実する。

②人材育成と能力開発

- ・ 新規創業者等を対象とした「とやま起業未来塾」や、「とやまスタートアッププログラム」、中小企業経営者等を対象とした研修を実施し、地域の産業を支える優秀な人材を育成する。

- ・ オーダーメイド型訓練を実施するなど、企業の人材育成ニーズに応じた職業能力開発を推進する。
- ・ 技能者の育成のために積極的に取り組んでいる熟練技能者を「とやまの名匠」に認定し、とやま技能継承塾を開催するなど、技能継承のための実技指導を実施する。

③経営革新の促進

- ・ 新たな生産方式の導入など企業経営の革新的な取り組みや異なる分野の企業等との連携の取り組みに対して支援を行う。
- ・ 中小企業が開発して一定の評価を受けた新商品を認定し、県による購入・評価支援を行うトライアル発注事業を実施する。

④産学官の連携強化

- ・ 大学、高等専門学校、試験研究機関、産業支援機関、企業等による研究ネットワークの形成や研究者の交流を促進する。
- ・ 県内企業の技術ニーズと県立大学の技術シーズをマッチングし、地元密着型の産学官連携を推進するための県立大学地域連携センターの機能を強化する。
- ・ 工学・医薬学研究やデザイン開発分野等において、富山大学等との産学官連携を促進する。
- ・ 新技術・新商品開発のための産学官共同研究を推進する。

⑤資金面の支援

- ・ 設備投資・経営革新など中小企業の積極的な取り組みや企業経営の安定を支援するため、県融資制度を活用した円滑な資金供給を推進する。
- ・ 担保力や信用力の弱い中小企業を支援するため、信用保証制度を活用し、中小企業の資金調達を支援する。
- ・ 「(公財)富山県新世紀産業機構」の「元気とやま中小ベンチャー総合支援ファンド」を活用した、社債の引き受け等による支援を行う。

⑥国内外における販路開拓支援

- ・ 物販コーナーにおける県産品の展示販売の強化など、東京アンテナショップ「日本橋とやま館」及び「いきいき富山館」の機能を充実する。
とりわけ「日本橋とやま館」では、上質なライフスタイルに合う富山ならではの優れ

た県産品の販売・PRを行う。

- ・ 県内企業の機能性・デザイン性に優れた製品を、「富山プロダクツ」として選定し、選定製品を県内や国内外に広くPRするとともに、販売促進を支援する。
- ・ 県産品のブランド化に意欲的に取り組む事業者とその産品を「明日のとやまブランド」として選定し、販路開拓等を支援する。

⑦地域産業・伝統産業の振興

- ・ 協同組合等の業界団体が取り組む、各種展示会を通じた国内外へのPRや販路開拓を積極的に支援する。
- ・ 日本貿易振興機構（ジェトロ）等との連携を強化し、中国や欧州等で行われる主要な見本市への企業の出展活動を支援する。
- ・ 工業デザイン分野において、県内企業の製品の海外への販路開拓を促進する「富山・ミラノデザイン交流倶楽部」の活動を支援し、新たなビジネスの創出を促進する。